

日本製鉄の白田・中国支店長と対談 組合員限定サイトに公開

広島県鉄構工業会

広島県鉄構工業会（理事長
山本泰徳・ステントス
社長）はこのほど、日本製
鉄の白田学・中国支店長と

山本理事長の対談動画を制作、組合HP内の組合員限定サイトに公開した。今回の対談は鉄鋼・ファブ業界の状況について意見や情報を交換し、その内容を組合員に公開することを目的とした企画。撮影は2022年8月に行った。白田支店長はサブライチエーン内でのコスト上昇分の応分負担を見据えた商習慣の見直しの状況、日本製鉄グループが進めているカーボン



（左から）山本理事長、白田支店長

ニュートラル（脱炭素）化に向けた技術・製品開発と

その取り組みについて紹介した。

山本理事長は鋼材をはじめとする原材料や製造コストに対し、政府や施主、ゼネコン側の理解が深まってきた現状を説明した上で、「社員やその家族が安定した生活を送れる環境を整えるためにも適正価格での受注を進めたい」とし、「次世代の人が馴染みやすい経営環境を整え、持続的成長ができる魅力ある業界作りをしていく」とした。対して白田支店長は「中国地区のインフラ基盤の構築に貢献したい」と語った。